

中学校統合検討比較表1 (校舎のみ)

比較項目		パターン1		パターン2		パターン3	
		唐瀬原中に統合 (国光原中廃校)		国光原中に統合 (唐瀬原中廃校)		新設中に統合 (既設2校廃校)	
コスト (※)	建設・改修コスト		2,840,784 千円		2,574,337 千円		2,548,000 千円
	経常的修繕費		143,296 千円		130,685 千円		141,733 千円
	電気代		133,847 千円		98,554 千円		93,996 千円
	コスト総額		3,117,927 千円		2,803,576 千円		2,783,729 千円
	最低額との差		334,198 千円		19,847 千円		-
コスト (※)	コスト試算の考え方		<ul style="list-style-type: none"> 1,584㎡の校舎を1棟増築 既存校舎は全て築30年以上のため、80年使用するために大規模改造と長寿命化改修を行う 教室棟は2051年、管理棟は2053年に建替え 建替えコストには既存建物の取壊し費用と仮設校舎の費用を含む 		<ul style="list-style-type: none"> 2,169㎡の校舎を1棟増築 教室棟2棟は大規模改造と長寿命化改修を行ったうえで、築80年目の2049年と2059年に建替え 老朽化が進んだ技術教室は2024年に建替え コンクリート圧縮強度の数値が低く長寿命化が望めない管理棟は2033年に建替え、その後20年目で大規模改造 建替えコストには既存建物の取壊し費用と仮設校舎の費用を含む 		<ul style="list-style-type: none"> R6~7年に新設 建築後20年目に大規模改造工事
学校 施設	校舎総延床面積		5,491㎡		5,130㎡		6,370㎡
	校舎		増築する校舎以外の校舎では、メインの建物2棟が築40年超のため、今後40年間にその2棟の更新(要仮設校舎)が必要となるほか、全5棟で長寿命化改修・大規模改造工事が必要となり、学校運営面での支障が多い。 増設校舎の用地が課題となる。		増築する校舎以外の校舎4棟が全て築40年超であり、健全度が低い(健全度18~75)ため、今後40年間に全4棟の更新が必要となり、その度に仮設校舎での運営を要することになる。 増設校舎の用地が課題となる。		全て新校舎となり、校舎の安全面や環境面での課題がクリアされる。

※コストは、2022~2061年の40年間の総額を試算